

プチっと人権講座

『無関心であるということとは…』

先日朝、テレビを見てみると虫に無関心であると私たちの暮らしに大きな影響を与え、やがては多くの昆虫が絶滅の危機にさらされることになるとの番組が流されていました。

『虫に無関心』と私たちの暮らしとどう関係なのか、最初は首をかしげながらみていました。

最近では虫を嫌う子どもが増えているようです。一つの原因は虫嫌いの親や身近な大人を見て段々と虫嫌いになっていくようです。そういう子どもたちがやがて親になり、自分の子供に虫嫌いを植え付けていく連鎖があるのではないかと番組では言っています。もう一つの原因は「都市化」の影響もあると言っています。都市化により、自然界と切り離された環境になり、「汚れ」に対して敏感になっていくのも「虫を避ける傾向が強くなっていく」と言っています。

「虫嫌い」の人が増え、虫を避ける傾向が強くなると昆虫の絶滅の危機に向かうようです。現実に昆虫が激減傾向にあると言われています。

昆虫は植物の「受粉」という大きな役割を果たしています。昆虫が減少すると、農作物の生育に影響し、生産が減少し農作物の価格の高騰につながり、私たちの生活に大きな影響を与えます。

私たちはとかく、興味がないことには無関心です。

他人の言動に無関心で「マイペース」な人も見受けられます。しかし、人と一緒に仕事をし、行動する時、相手への関心や配慮は不可欠ではないでしょうか。私たちは一人で生活しているわけではありません。他人への関心をもつことはコミュニケーションを円滑し、良好な人間関係を気づく上で重要な手段ではないでしょうか。

やはり、日常生活においてはある程度、昆虫同様、人にも関心を持つことも大事ではないでしょうか。(過度な関心は困りますが(笑))

以上、『虫に無関心』という番組をみてこんなことを思いました。

＜ 相談事業 ＞

自分のこと、家族のこと、ご近所のことなど...悩みごとはありませんか。「人には言えない」でも誰かに聞いてほしい!!「どこへ相談すればいいの?」と思われたら隣保館へご相談ください。不安に寄り添い、問題解決のためのお手伝いをします。他の機関とも連携していますので、安心してお越しください。訪問相談や電話でのご相談も受け付けております。



【 第1回人権学習会 】

講師に、井上雅央さんをお招きし、「性の多様性についてお話をいただきました」

幼少期のエピソードから現在に至るまでの体験や影響を受けた先生との出会い、職場での話など幅広くお話をいただきました

多様な性があることを知り、お互いに相手を尊重し、理解するための行動や思いやりが大事だということを改めて学ぶ機会となりました

＜参加された方の感想＞

「自分の人生ウソよりホンマの方がいいかな」と人は自分が裸になった分裸になってくれる」という言葉が印象的でした

・一人一人が自由に楽しく生きられるように考えを広く持つことが大切だなと思いました



告

9月6日(水)の水玉長寿クラブの活動予

社協の方に来ていただき健康教室を行います。内容は、「脳トレとリズム体操」です。暑い日が続きますので熱中症対策をしてお出かけください。

【 大和小・中学校教職員研修 】

7月26日に大和地域の教職員の方による人権研修会を行いました。初めに館長から、隣保館についての話や差別をなくすためにはどうすれば良いかなど話がありました。その後、4つの班に分かれてグループワークが行われました。

「一人一人を大切にする教育とは」という議題で意見交換を行い、大和の子どもたちへの具体的な関わり方や教育的支援などについて話し合いをされました。



＜ 9月の予定 ＞

- 4日(月) スマホ教室
- 6日(水) 水玉長寿クラブ
- 8日(金) 神楽面作り教室
- 13日(水) 絵手紙ボランティア
- 14日(木) ニコニコ健康教室
俳句教室 (和室)
喜楽会
- 16日(土) 習字教室
- 18日(月) あみものクラブ
- 20日(水) フラワーアレンジメント教室
- 22日(金) 切り絵教室
- 28日(木) ニコニコ健康教室
森林教室

